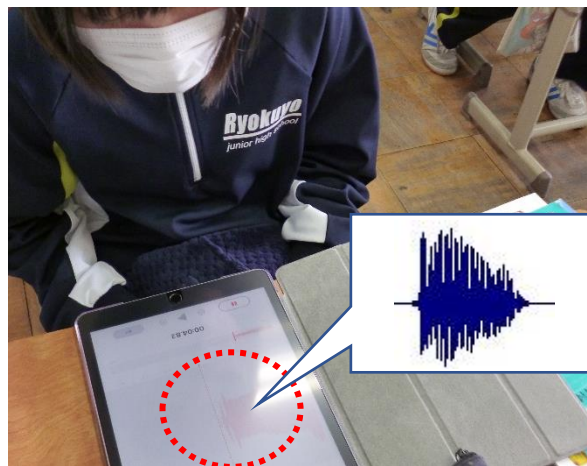


貸与された iPad を使って..

2月17日水曜日に、正式に各務原市から生徒一人一台のタブレットが貸与されました。さっそくいろいろな場面生徒たちが使い始めています。

右の写真は理科の「音」の授業です。iPadに自分の声を録音して、どんな波形になるのか一人一人が観察できました。大きな声や高い声など声を変えながら「音」とはどういうものなのか自分なりに目で確かめながら調べていける学習スタイルは、やはりタブレットが一人一台あればこそできるものです。



また、3年生の社会科の授業では、株式会社の仕組みを学習する「株主ゲーム」の学習の際には、グーグルを使って興味をもった企業の情報を手に入れようと一生懸命調べている生徒たちがいました。意思決定に必要な情報を瞬時に手に入れられることも素晴らしいですし、教師が用意していたのでは網羅しきれない生徒一人一人の興味に合ったデータを授業で活用できるのも、自分の課題を自分の力で解決していこうとする生徒を育てるうえでは、とても有効なツールであると言えます。



国の『GIGAスクール構想』に沿って、一気にタブレット導入が実現しました。生徒たちには、貸与式の際、どうしてiPadが貸与されることになったのかは以下のように説明してあります。

- ・将来、Society5.0と呼ばれる社会で、誰もが幸せに過ごせる社会を創りたい
- ・幸せに社会をみなさん（生徒たち）が創っていくためには、これからの学校の学習も先進技術を生かしてどんどん変わっていく必要がある。タブレットなどのパソコン機器を鉛筆やノートと同じ勉強の道具の一つとして使いこなしていくことが重要。

タブレットは、各務原市から貸し出されている公のもので、3月末には一度返却になります。また、使用上のルールを守れず壊してしまった場合は弁償になります。タブレットを鉛筆やノート代わりに家庭でも使えるようにするためには、保険のことや運搬の仕方などを、今後整備していく必要がありますが、生徒の未来を拓く道具として、積極的に活用していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。